



カフェ笠松の営業時間

が変わりました

コロナ禍のもとで、依然として短い時間での営業となっており、「迷惑をおかけしております。」
2022年4月からは、月々金十時半～十四時半に開店しております。

(土、日、祝日はお休みです)

「これからは気持ちの良い季節となります。どうぞのんびりとお出かけください。ゆいまあるの日替わり弁当のほか、豆を挽き丁寧に淹れるコーヒーやスタッフ手作りのジンジャーエール、季節のパウン



地域の方からいただいた夏みかんで作ったマーメイドたっぷりのパウンドケーキ

ご挨拶に替えて ～カフェ開設から6年を迎えました～

ドーナツなどをお楽しみください。

カフェ笠松は2016年、南沢の施設開設時に、二階にあったフリースペース旧「交流ひろば」と共に、地域の居場所としてオープンしました。

今よりもっと人通りも少なく、(終日人が通らない日もある)た：・開設時からスタッフ中村さんやボランティアさんたちと苦労したことを思い出します。

「交流ひろば」が「コンサートやたごえ喫茶などのイベントや地域の方の食事会などでにぎわうのと並んで、カフェも少しずつお客様がきてくださるようになり、地域の居場所となつていったと思います。しかし、おしゃべりや人との出会いそのものが禁じられるコロナ禍はカフェにとっても大きな災難でした！



※写真中央が工藤さん

それでも最近ではお弁当を買いに来てくださる常連のお客様も、高齢の方から子育て中の若い方まで広がってきました。コロナが終息すればまた、「カフェ笠松で会いましょう」と来店される方も帰ってきてくださると願っています。

(カフェ担当 工藤ひろ子記)

ヤングケアラーから介護職へ

奥村新事業統括MG へご挨拶

二十年前、私は途方に暮れていました。

その頃、私は認知症の祖父の在宅介護をしていました。「何度も同じ事言っているよね?」「ちゃんと紙に書いてあるよね?」「短期記憶の残らない祖父に、ついつい厳しい言葉を投げつけてしまう日々。祖父も負けじと言い返してくるので、毎日言い争いばかりでした。

時には手が出さずになつて、ぐつと堪える。高齢者に手を挙げてしまひそつになる自分が、「この世で



岩崎管理者(左)と奥村事業統括(右)

一番サイターの人間だと落ち込みました。今で言うヤングケアラーで介護鬱でした。

感情が抑え切れなくなると、家を飛び出して近所の月極駐車場の端でわんわん泣きました。もっとちゃんと色々な事ができるよい子だったらよかったのに。こんなサイテーな自分は生きていく価値がない。全部捨てて、どこか入行つてしまおうか…。

そんな時、ふと、「こんなに苦しむのはこの世で私だけなのかな?」という疑問がわきました。「そういえばこの国の高齢者の人口ってどのくらいなのかな? その内どのくらい認知症の人がいるのだろうか? 家族でケアをしている人はどのくらい? その人達はどうやってケアをしているのかな? みんな辛いのかな? 楽しくやっている人もいるのかな?」

一度気になる、疑問は次から次にわいてきて、私は「自分が何も知らないんだ」ということを知りました。

正会員 97名 賛助会員 43名 利用者 492名
(2022年3月末日現在)

特定非営利活動法人地域ケアネットワークゆいまある
〒203-0023 東久留米市南沢 2-13-11
Tel : 042-479-5772 / Fax : 042-479-2337
ホームページ : <https://www.yuimarlu.jp/>

発行責任者：理事長 八幡 茂子

編集後記

年度がまた切り替わり、長くケアマネ部の大黒柱でもあった米山さんと、南沢の事業所で交流事業を立ち上げた工藤さんが法人を離れました。米山さんは新たな出会いを求めてボランティアを開始、工藤さんはパレエの発表会に出られるなど、それぞれ意気軒昂にご活躍中です。(山)

「知らないなら知ってみよう」
そこかターニングポイントでした。文学少女だった私は今までばかりを読んで過ごしてきましたが、その時の心境は「書を捨てよ、町に出よう」でした。
自分の目でちゃんと見よう。自分の身体で学んで、「人の人生」を肌で知ろう。そして、飛び込んだのが、この法人、ゆいまあるです。
まずは見学…と、事務所に来た私は、その日に会ったばかりの理事長の八幡さんの熱量にグツと心をつかまれ、翌週からデイサービスの非常勤職員になっていました。
その後、小規模多機能型居宅介護支援事業所、訪問介護での勤務を経て、多くの方の人生の伴走者になりました。
ひとつとして同じ人生はありません。その人の物語があつて、その場所での人の命が燃えています。仕事の中で教えられた言葉に、「生まれる場所は選べないけれど、ラストの場所は自分で選べる」というのがあります。(2面へ続く)